



あ

や

め

*Aim High*

in 「一期一会」

文責：生徒指導主事 櫻本直弘



## 「強さ」を備えた「愛される部」へ

気候は一気に「夏」から「冬」へと向かうようなここ最近の様子ですが、世間ではまさに「**スポーツの秋** 真っ只中」といったところでしょうか。

そんななか、10月下旬から11月初旬にかけて、1・2年生が主体となって戦いに挑む「新人大会」などが県内各地で開催され、櫛形中学校の各部・各選手も大いに活躍してくれました。残念ながら今回県大会にコマを進められなかった部や、思うような結果に結びつかなかった部もあるとは思いますが、各部の戦いはまだ始まったばかりです。来春にはひと回り大きな花を咲かせられるよう、この冬に鍛錬を重ねましょう。

**「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ、やがて大きな花が咲く」**

しかし、強くなることだけがすべてなのでしょうか。強くなりさえすれば良いのでしょうか。学校部活動はそうではないですよね。笹本校長先生もよくおっしゃっていますが、「**誰からも愛される部**」「**誰からも尊敬される部**」を目指すことを忘れないでください。そのうえでの「強さ」です。

・陸上部 県新人大会 男子総合 優勝

・陸上部(駅伝) 県駅伝 女子優勝(8年連続)

男子2位

※関東大会(12月・男女)・全国大会(12月・女子)出場

・女子バスケ部 県新人大会 2位

・女子バレー部 県新人大会 3位

・男子バレー部 県新人大会 ベスト8

・弓道部 県新人大会 女子団体 優勝

※まだ大会が終了していない部もあります。そちらについては

次号で紹介させていただきます。

※県大会個人成績は割愛しました。



# 絶好のコンディション！ 強歩大会実施

11月5日（水）曇り空の絶好のランニング日和のなか、櫛形中学校強歩大会が行われました。開会式では、笠本校長先生から「自分自身と、あるいは昨年の自分としっかり『勝負する』こと」「『感謝』の気持ちをしっかり持って走り切ること」といった2点のお話をいただき、高野PTA会長様からも温かな励ましのお言葉をいただきました。選手宣誓では昨年度の男女最高記録選手である3年生の功刀緋彩さん・高野聖女さんが「感謝の気持ちをもって走りきる」決意を誓ってくれました。



8時50分に櫛形陸上競技場を全校一斉にスタートし、約17kmのコースをそれぞれのペースで走り出しました。お手伝いいただいた保護者の方々を中心に、沿道からのたくさんの応援を受けながら、みんな真剣に走っていました。1年生にとっては、まさに「未知への挑戦」だったと思います。初めての17km、コースはアップ・ダウンがあり、かなりキツイ感じる生徒が多かったのではないでしょうか。2年生は、**2回目**という経験値や日々の部活動で体力もついてきていることから、自分の走りができた生徒もたくさんいたのではないでしょうか。3年生にとっては、「最後」の強歩大会ということで、3年間の自分を振り返りながら走っていたことだと思います。



長い距離を走ることは、肉体的にも精神的にも大変苦しいことだと思います。辛くて途中で立ち止まりたいと思ったことや、「何でこんなに長い距離を走らなければならないのか」と思った生徒もいたかもしれません。また、長い距離を走ることは、よく「人生」にも例えられます。人生は山あり谷ありで、良い時もあれば、悪い時もある。当然、自分に負けそうになる時もあります。そんな時、自分と闘いながら、前を向いて一歩ずつ進んでいけるような「強い心」が、この「強歩大会」には求められているのではないでしょうか。**長い人生の中で、困難に直面した時にも、弱い心に負することなく、あきらめずに最後まで頑張ることの大切さ**を、この「強歩大会」から体得して欲しいと思います。

なお、結果につきましては、男子優勝沢登祐心さん・女子優勝花輪珠涙さんということで、しっかりと3年生が「意地」を見せてくれました。本当におめでとうございます。



保護者の皆様には、今回多くの方々に「協力員」として、生徒の安全確保をしていただくとともに、温かい声援をしていただき、誠にありがとうございました。生徒たちにとっても大きな励みになりました。また、今回も南アルプス警察署の方々や交通安全協会の方々のご協力、ご指導のおかげで、大きなケガや事故等がなく、無事に強歩大会を終えることができました。今後も保護者の皆様、地域の方々には、櫛形中学校の教育活動にご理解とご支援、ご協力ををお願いします。

